

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「中学生のみなさんに聞いてほしい生と性のこと」

射水市立新湊南部中学校3学年

平成26年6月11日実施

種部先生は、富山市立西田地方小学校(平成26年9月24日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

種部 恭子先生

・婦人科医



いのちの授業を受けて、二つとない命、限りある命、つながりあう命、命の大切さを改めて感じる事ができました。私もその大切な命の一つなんだと感じ、この命をどう輝かせていくか、今からの人生がとても楽しみです。これまで私がこうして生きてこられたのは、家族みんなのおかげです。今まで育ててくれたことに感謝し、これからも日々成長していきたいです。

いのちをつなぐ「性」というものは、とても深く大切なことであり、決して恥ずかしいことではないと思いました。授業では教えてもらえないことを学ぶことができ、とても有意義な時間になりました。今日の授業で学んだことはたくさんありました。命ができるには、たくさんの人の支えがあり、たくさんの人の強い思いがあるのだと知りました。この講演で相手を思いやり認めることがどれだけ大切なのかを分ることができました。



いのちの授業を受けて、命がつながるといのはすばらしく、すごいことなんだとわかりました。私が今ここにいるのは、お父さんとお母さんがいたからです。その中で、私が産まれてこれたのは、奇跡であり、お父さんとお母さんのところに産まれてこれたのは私の幸せです。今まで育ててくれてありがとう。